

桑名市総合医療センターニュース

第0032号

平成26年11月発行

2014年度 がん患者と家族の方の

おしゃべりサロン in 桑名



日時:2014年 11月 19日 (水)

13:30~15:30

場所:桑名市中央公民館 学習室

(桑名市中央3丁目)

* 参加費無料、参加申し込み不要

がん患者さんや家族の方が集まってお話しします。同じ病気の人の話を聞いたり、不安なことや、自分の悩みを聞いてもらったり… 家族の方にも、誰にも言えない心のうちを話しにきてください。

お問い合わせは

がん相談支援センターまでお願いします。



共催：桑名市 桑名東医療センター
桑名西医療センター

後援：北勢緩和ケアネットワーク

主催：三重県がん相談支援センター

電話 059-223-1616

FAX 059-253-3551

三重県がん相談支援センターは、公益財団法人 三重県健康管理事業センターが運営しています。



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター

産婦人科・周産期内科より

～東医療センターへの外来診療集約に伴う、西医療センターの外来診療閉診ついて～

西医療センターで行って参りました産婦人科外来診療を、東医療センター産婦人科・周産期内科へ集約するため平成26年11月末をもちまして閉診致します。

今後は、東医療センターにて婦人科疾患診療、子宮がん検診を行ってまいります。また、産科、周産期内科では妊娠、分娩から育児まで安心してお過ごしいただけるよう努めてまいります。

ご理解のほど、よろしくお願い致します。

新しい医師の紹介

【桑名東医療センター 周産期内科】



田中 博明
(平成13年卒)

《所属学会》
日本産科婦人科学会
日本周産期・新生児学会
日本婦人科腫瘍学会
日本未熟児新生児学会

平成26年10月より周産期内科に赴任しました田中博明と申します。産婦人科・新生児科を専門としております。

他科や近隣の先生方には、産婦人科全般・新生児に関して、気軽にご相談いただければ幸いです。

桑名地域の医療に少しでも貢献できるように、尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



田中 佳世
(平成21年卒)

《所属学会》
日本産科婦人科学会
日本周産期・新生児学会
日本婦人科腫瘍学会
日本未熟児新生児学会

平成26年10月より桑名東医療センター周産期科で勤務させていただいております。産婦人科と新生児医療を専門にしています。出身は九州で、三重県には今回初めて赴任しました。桑名地区の医療に少しでも貢献できるように努力していこうと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【桑名東医療センター 放射線科】



阿部 博和
(平成12年卒)

《所属学会》
日本医学放射線学会

平成26年10月1日から桑名東医療センター放射線科にて勤務させていただくことになりました。私は、これまで三重大学で勤務させて頂いておりました。大学では多くの優秀な先生たちのご指導を賜り、数々の高度医療を経験させていただき、非常に勉強させていただきました。今後は桑名市の皆様方のために私の持っている知識を最大限発揮して全力で貢献させていただきたく思います。どうかよろしくお願い致します。

《東医療センター 医師異動について》

○糖尿病内科 岡野 優子 医師 (非常勤) 10月末退職

<後任>西濱 康太 医師 (非常勤) 11月着任 *月曜日の外来を担当します



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター



11月10日～16日は全国糖尿病週間です

病院では、糖尿病週間に合わせて、様々なイベントを企画しています。

《西医療センター》

■11月10日（月）～14日（金）9：30～10：30

*正面玄関と北側玄関にて啓蒙グッズ（パンフレットや低カロリー甘味料サンプルなど）を配布します。また、パネル展示などで情報提供を行います。

■11月14日（金）11：00～13：00

～食事療法セミナー～（糖尿病教室）*3階図書室

○参加費：1500円（昼食代込み）

○定員：20名（予約制）（Tel:0594-22-7111）

*身長、体重などから個人に合わせた食事量を算出し、栄養のバランスや適量についてバイキング形式で、楽しく、おいしく学べるセミナーです。

災害救助訓練に参加しました

平成26年9月21日（日）に星見ヶ丘小学校で実施された災害救助訓練に桑名東、西、南医療センターから医師6名と看護師11名で参加しました。この災害救助訓練は毎年実施していますが、今年は伊勢湾台風から55年の節目の年であり、自衛隊や日赤、桑名市、桑名市消防本部、地元自治会も参加する大規模な災害救助訓練でした。当日は、自衛隊や地域住民が参加した炊き出しなども行われていました。救助訓練は、テント設営からはじまり、医師と看護師がグループに分かれて、運ばれてくる被災者役（看護学生60名程が参加）に対しトリアージや応急処置を行ないました。

＜訓練のながれ＞



①トリアージ・・・運ばれてくる被災者の重症度や緊急度を確認し、重症者、中等度者、軽症者に分け、治療の順位や搬送などの優先順位を決める。

②応急処置・・・トリアージ後、重症者・中等度者・軽症者のそれぞれのテントに運ばれる被災者に対し、必要な応急処置を行なう。

③救急搬送・・・災害本部と無線でやりとりし、救急搬送の依頼や状況把握を行ない、救急隊へ被災者を引き継ぐ。



当法人は災害時に地域の中核的な医療機関として医療を提供する役割を担っています。今回の訓練は、桑名市や自治体、消防、医師会の先生方など多くの関係機関の方との協力のもと行なうことができ、実際の災害時の体制につながるとても有意義な訓練になりました。今後も積極的に取り組み、災害時の医療体制の充実に努めていきたいと思っております。

『臓器移植普及推進月間』パネル展示を行いました

毎年10月は、広く国民に対して臓器移植の現状を周知し、移植医療に対する理解と協力のための普及啓発を行う『臓器移植普及推進月間』です。

西医療センターでは、三重県角膜・腎臓バンク協会に協力し、10月14日～17日に啓発ポスターや臓器移植の説明、移植を受けた方の絵や紹介などの啓発パネル展示を院内で行いました。

引き続き、パンフレットや臓器移植の意思表示カードを院内に設置しておりますのでご覧ください。



